

# 貸借対照表

平成28年 3月31日 現在

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
[流動資産]	947,535	[流動負債]	1,841,133
現金及び預金	2,081	支払手形	10,324
売掛金	241,132	買掛金	396,542
製品	555,824	短期借入金	1,171,356
仕掛品	57,993	未払金	1,819
原材料	1,465	未払法人税等	754
前払費用	3,565	未払事業所税	1,324
未収収益	17,059	未払費用	211,808
未収入金	67,999	預り金	36,114
仮払金	413	賞与引当金	11,089
[固定資産]	37,924	[固定負債]	11,484
(有形固定資産)	20,840	退職給付引当金	11,484
建物附属設備	10,532		
機械装置	7,758		
器具備品	2,548		
(無形固定資産)	4,948	<b>負債合計</b>	<b>1,852,617</b>
電話加入権	4,239	<b>【純資産の部】</b>	
ソフトウェア	709	[株主資本]	△ 867,157
		資本金	100,000
(投資その他の資産)	12,136	資本剰余金	415,000
出資金	250	資本準備金	250,000
差入保証金	11,886	その他資本剰余金	165,000
		利益剰余金	△ 1,382,157
		利益準備金	1,200
		その他利益剰余金	△ 1,383,357
		繰越利益剰余金	△ 1,383,357
		<b>純資産合計</b>	<b>△ 867,157</b>
<b>資産合計</b>	<b>985,460</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>985,460</b>

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 個別注記表

## 1. 重要な会計方針

会社計算規則に基づき計算書類を作成しております。

### (1) 資産の評価基準及び評価方法

#### ①有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの・・・ 期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）によっております。

時価のないもの・・・ 移動平均法による原価法によっております。

#### ②棚卸資産の評価基準及び評価方法

製品、原材料、仕掛品・・・ 総平均法によっております。

貯蔵品・・・ 最終仕入原価法によっております。

#### ③デリバティブの評価基準及び評価方法

時価法によっております。なお、ヘッジ会計の方法につきましては、繰延ヘッジ処理によっております。

### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・ 定額法によっております。

無形固定資産・・・ ソフトウェア（自社利用）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

### (3) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・ 売掛債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により計上しております。

退職給付引当金・・・ 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当期末に発生していると認められる額を計上しております。

### (4) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

#### ①リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

#### ②消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

## 2. 当期純損益金額

当期純損失

22,066千円